

経営比較分析表（令和元年度決算）

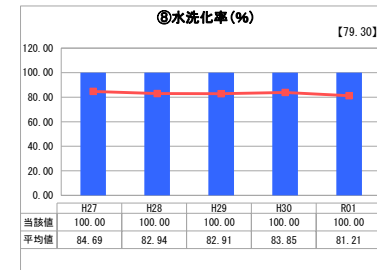
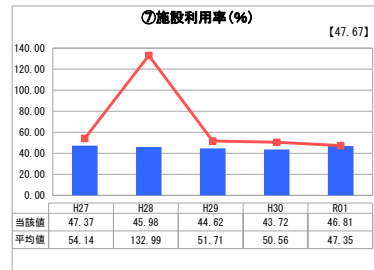
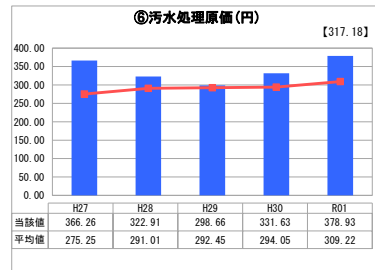
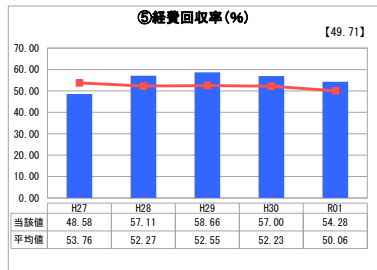
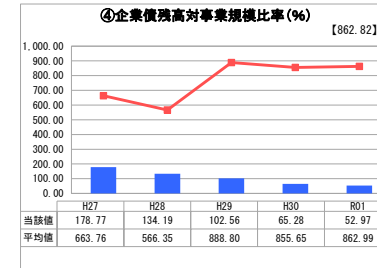
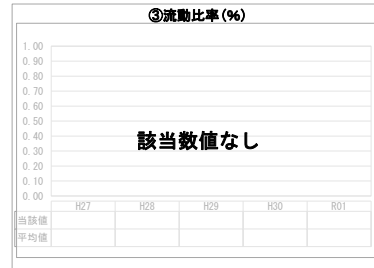
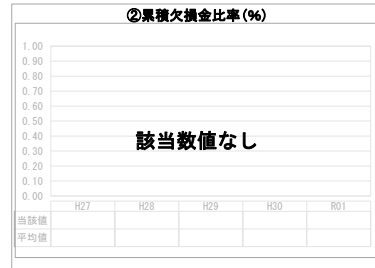
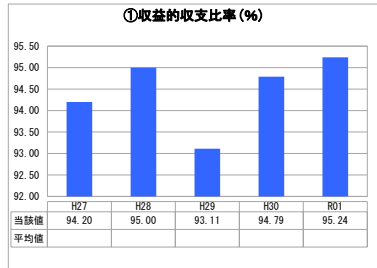
福井県 南越前町

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	4.25	100.00	4,290

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,487	343.69	30.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
442	0.25	1,768.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

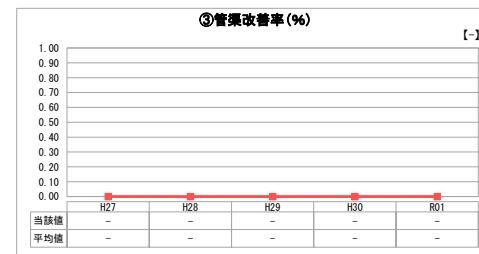
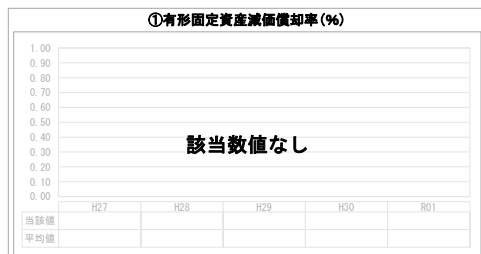
1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率については、恒常的に100%以下であり、収支不足分を他会計繰入金にて賄っているのが現状である。
 ④企業債残高対事業規模比率については、近年、新規の企業債は無く額の変動もないため、営業収益に応じて率は変動している。また、平成30年度には、企業債の一部が償還済となり、さらに、新たな起債もないことから、年々比率が低下し、今後はこのまま推移するとみられる。
 ⑤経費回収率は令和元年度においても類似団体の水準を若干超過したが、以前として低水準である。今後は、健全な経営を目指し、健全経営を見据えた使用料の改定を行う必要がある。
 ⑥汚水処理原価は類似団体より高水準であった。今後は、投資の効率化や、より適切な経営方法の検討などの改善が必要と考えられる。
 ⑦施設利用率はほぼ均衡して推移しているが、過疎による人口の減少により、減少していくことが予測される。一方、宅地造成の計画はあるものの、小規模かつ浄化槽区域のみに限定していないため、現状から大幅な変動はないと考えられる。
 ⑧水洗化率は100%であり、類似団体より高い。適切な汚水処理と水質保全の観点から、今後もこの数値を維持していきたい。

2. 老朽化の状況について

現在は、施設機能の維持のため、定期的な清掃並びに点検を行い、修繕が必要な施設については部分的な修繕を行っている。
 本施設は比較的新しいため、老朽化は進んでいない。また、機能的にも全面的な改修を必要とする箇所はないが、今後は、老朽化が進行することから、長期的視点の施設改修計画を検討したい。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全化について、維持管理経費の削減に取り組んでいるものの、依然として収入の中では他会計繰入金が高い割合を占めている。今後は、人口減少がさらに進行すると予測されることから、今以上に使用料の減少が予測される。
 そこで、令和元年10月に使用料を改定し、事業の財源確保を図るとともに、経営の健全化を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。